

事業番号	07 04 04	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	食品産業の活性化支援事業		部局	産業労働部	課・室	産業技術課
			実施期間	H20 ~	E-mail	sangi @ pref.nagano.lg.jp

## 1 現状と課題

- ・コロナ禍の中で健康の維持・増進や免疫力向上に役立つ発酵食品等への注目が集まっている。
- ・人口減少や原材料・燃料の高騰等により食品産業を取り巻く環境は厳しさを増している中、産学官連携によるフードテック技術を活用した新商品開発や食品事業者の品質向上に向けた取組が求められている。

## 2 事業目的

- ・食品製造業振興ビジョン2.0に基づき、長寿県NAGANOの「からだに優しい食品」の創出・提供を核として、国内外の食市場で優位性を確保する食品製造業の実現を目指す。

## 3 事業目的を達成するための取組

### ①県産機能性食品等の研究・開発に携わる人材の育成支援

- ・機能性食品など食品業界のトレンドに対応できる研究開発人材を育成するため、産学官連携による講義等を実施

### ②食品の品質向上や社会課題解決のための新食品開発支援

- ・食品企業の技術者の製造技術向上に向け、発酵食品を中心とした食品の品評会を開催し、製造技術の高位平準化を図る
- ・食品残さの有効活用を図るため、フードテック技術研究会や県内食品企業が取り組む新商品開発への支援を実施
- ・加工食品等の輸出拡大に向け、輸出先国の求める基準・条件等の規制に対応するため、製造・加工施設の新設及び改修、機器の整備等に係る経費を助成

### ③発酵食品や発酵・長寿県ブランド形成のための販路開拓支援

- ・発酵食品をはじめとする、加工食品の新商品開発を進め、専門家と連携した販路開拓支援を実施
- ・「発酵・長寿県NAGANO」のブランド化及び価値向上のため、発酵食ツーリズムの実証や発酵・長寿ポータルサイトの多言語化整備を実施

## 4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	食品に係る研究開発人材の育成数	人	23	10	↘	20	↗	20	達成	食品産業振興ビジョン2.0において人材育成支援を掲げている。過去3年間の実績を基に、年間20名とし、5年後の累計人数100名を目指す。	
②	フードテック技術研究会への参加者数	人	—	150	—	131	↘	180	未達成	食品産業振興ビジョン2.0においてフードテックを活用した商品開発力の強化を掲げている。令和5年度の研修受講者見込数を基に、年間30名の参加拡大を目指す。	
③	サーキュラーフードビジネス促進事業補助金利用件数	件	—	2	—	3	↗	6	未達成	食品産業振興ビジョン2.0において、信州型サーキュラーフード推進を支援するとしている。令和5年度の利用見込数を基に、3件の支援拡大を目指す。	

## 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年/ 年度	数値	年/ 年度	数値	年/ 年度	数値	年/ 年度	数値
2-1②	稼ぐ力とブランド力の向上	☆加工食品の輸出額	億円	2021 (R3)	71.8	2022 (R4)	78.9	2023 (R5)	113.5	2027 (R9)	124
2-3②	サービス産業等の活力向上	しあわせ信州食品開発センターの支援による商品化件数(2023~2027年度の累計)	件	—	—	2023 (R5)	21	2024 (R6)	42	2027 (R9)	100
2-3②	サービス産業等の活力向上	しあわせ信州食品開発センターによる支援件数(2023~2027年度の累計)	件	—	—	2023 (R5)	80	2024 (R6)	163	2027 (R9)	400

## 6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	759,933	31,367	689,415	1,480,715	16,709	1,014,095	1.5
R5年度	0	999,489	79,624	1,079,113	15,091	306,096	1.5
R4年度	284,835	94,336	△ 65,400	313,771	11,474	312,186	1.5

事業番号	07 04 04	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	食品産業の活性化支援事業		部局	産業労働部	課・室	産業技術課

## 7 主な取組実績と成果

<p><b>① 県産機能性食品等の研究・開発に携わる人材の育成支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の食品トレンドを読み解き、新たな食品づくりができる研究開発人材の育成を目指し、大学等と連携して「信州フードスペシャリスト育成プログラム」を実施（研修会の開催：10回）</li> <li>・機能性食品等の高付加価値の創出を推進するため、産学官連携による「食」と「健康」ラボ研究会を通じ、新商品開発プロジェクトや、食品開発に係る先端技術の講演会を開催（新商品開発プロジェクト：5件、講演会：2回）</li> </ul> <p><b>② 食品の品質向上や社会課題解決のための新食品開発支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品企業の技術者の製造技術向上のため、業界団体や工業技術総合センター食品技術部門と連携して品評会を開催し、食品の製造技術力及び品質向上を推進 （品評会開催：6回（清酒、みそ、信州そば、豆腐、甘酒、醤油）、品評会参加事業者数：129事業者）</li> <li>・フードテックを活用した新食品開発を推進するため、長野県産業振興機構に専門知識を有するコーディネーターを配置し、研究会の開催や企業からの相談などの取組を支援 （研究会の開催：4回、新商品開発相談支援件数：24件）</li> <li>・加工原料の輸入農産物から国内産・県内産への転換を推進するため、新商品開発に係る経費を助成（支援事業者：3事業者）</li> </ul> <p><b>③ 発酵食品や発酵・長寿県ブランド形成のための販路開拓支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「発酵・長寿NAGANO」のブランド力を強化するため、発酵・長寿ポータルサイトの英語版を製作</li> <li>・県産発酵食品の魅力を観光客等に伝える「伝え手（インタープリター）」の育成のためのセミナーを開催（セミナー：5回開催）</li> </ul>
---

## 8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標	内容	R5年度推移		R6年度推移		達成状況	達成
指標①	食品に係る研究開発人材の育成数	R5年度推移	↘	R6年度推移	↗	達成状況	達成
新たな食品づくりができる人材育成をするため、大学等と連携して人材育成を実施したところ達成。							
指標②	フードテック技術研究会への参加者数	R5年度推移	-	R6年度推移	↘	達成状況	未達成
令和5年度の研修者数から毎年30名の拡大を目指していたが、食品製造業の人材不足、高齢化等により未達成。研究会参加者の増加に向けて研究カリキュラム等の見直しが必要。							
指標③	サーキュラーフードビジネス促進事業補助金利用件数	R5年度推移	-	R6年度推移	↗	達成状況	未達成
令和5年度の支援件数に3件の拡大を目指していたが、原料価格の高騰等により新商品開発の取組が進まず未達成。取組事業者の増加に向けて事業内容の検討や事業の更なる周知が必要。							

## 9 今後の事業の方向性

<p>(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者の健康志向や環境問題に対する意識の高まりにより、消費者ニーズは多様化している。また、海外においても、和食や発酵食品に関する関心が高まっており、「NAGANOの食」のブランド化を進めるとともに、国内外への発信に引き続き取り組む必要がある。</li> <li>・人口減少による国内需要の減少、原材料価格の高騰など、食品産業を取り巻く環境は厳しさを増している中、産学官連携による、フードテックを活用した新商品開発を進めるとともに、事業内容を見直し、食品事業者の製造技術や品質向上等に向けた取組を推進する。</li> </ul>
<p>(2) 事業改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様化する消費者ニーズに対応するため、マーケットインの発想による新商品開発に向けた取組を支援する。</li> <li>・食品関係事業者や団体等と連携し、国内外で「NAGANOの食」の優位性を広く発信する。</li> <li>・産学官の連携強化により、フードテック技術を活用した新商品開発や、食品専門バイヤー等との意見交換を通じ、食品製造技術や品質向上及び国内外で訴求力の高い商品づくりに向けた取組を実施する。</li> </ul>

事業番号	07 04 04	<b>細事業一覧（令和6年度実施事業分）</b>	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	<b>食品産業の活性化支援事業</b>		部局	産業労働部	課・室	産業技術課

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
<b>1</b>	<b>「食」と「健康」ラボ機能形成事業費</b>		15,221 千円	14,456 千円	8,278 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州フードスペシャリスト育成プログラム	委託	発酵・機能性食品等の開発・研究企画に携わる県内食品製造業の人材育成を大学と連携して実施 人材育成人数：20人		
2	研究会による新商品の研究開発プロジェクト	負担金	「食」と「健康」ラボ研究会による新商品開発プロジェクトの実施や食品開発に係る研究・講演会を開催 新商品開発企業件数：5件		
3	発酵食品活用促進支援事業	委託	新食品開発スペシャルアドバイザーを配置し、消費者ニーズに合った新たな食品開発を支援 相談支援件数：12件		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
<b>2</b>	<b>食品産業技術高度化推進事業</b>		425 千円	1,602 千円	715 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	品評会等の開催	直接	本県を代表する食品（清酒・みそ・甘酒・そば・豆腐・醤油）の製造技術力及び品質向上を図るため、関係団体と共催で品評会等を実施 品評会の開催件数：6回		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
<b>3</b>	<b>グローバルな「NAGANOの食」価値向上推進事業</b>		- 千円	9,089 千円	10,563 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州フードテック開発支援事業	委託	県内食品企業の製造過程で発生する残さ（特に、酒粕）の有効活用に向け、産官学連携によるフードテックを活用した試作品づくりを支援 残さを活用した新商品（試作品）の研究・開発：1件		
2	サステナブルな「信州フードテック」転換支援	委託	コーディネーターを設置し、食品事業者における食品のアップサイクル等の新商品開発などへの転換を支援 フードテック食品の試作・研究開発：1件		
3	サーキュラフード（CF）ビジネスの促進事業補助金	補助金	県産農畜水産物の食品加工適応性について試作研究・評価等し、販路開拓に必要な経費を助成 事業実施：3件		
4	グローバルな「NAGANOの食」ブランド化支援	委託	輸出相手国のニーズ・規制に適合したマーケットインによる食品開発に係るPR・需要調査等を実施 セミナー及びプロモーションの開催：4回		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
4	「発酵・長寿NAGANO」ブランド力強化事業		3,705 千円	5,516 千円	5,210 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	NAGANOの発酵食魅力発信事業	委託	県産発酵・伝統食品の魅力を県外や海外へ発信するため、発酵・長寿ポータルサイトのリニューアルを行い、多言語表記や民間企業が持つ発酵食品の優位性等の情報発信を強化。 発酵・長寿ポータルサイト英語版の製作：1式		
2	発酵食品事業者連携強化推進事業	委託	食品事業者による発酵食品をもとにした商品開発の取組みを支援するため、地域食材専門バイヤーによる研修会の開催や、地域食材展示会への出展求評を実施 他事業と調整した結果不執行		
3	NAGANOの発酵・健康食ツーリズム実証事業の実施	委託	ブランド価値（発酵・長寿県や海外訴求力）の高い発酵食品の魅力等を広く発信するため、発酵食品の伝え手（インタープリター）を育成するためのセミナーを開催 セミナーの開催：5回		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
5	食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備支援事業		292,835 千円	275,433 千円	989,329 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備事業補助金	補助金	加工食品等の輸出拡大に向け、輸出先国の求める基準・条件等の規制に対応するため、製造・加工施設の新設及び改修、機器の整備等に係る経費を助成 事業実施数：3件		